

3-7 アメリカ議会図書館所蔵の旧日本軍撮影・ 中国空中写真の概況

今里悟之（大阪教育大）・長澤良太（鳥取大）・久武哲也（甲南大）

はじめに

外邦図研究グループでは、2002年9月、アメリカにおける外邦図の所蔵状況について、久武と今里の2名で第1回調査を行った。調査先は、アメリカ議会図書館（ワシントン DC）、アメリカ地理学協会の地図室（ウィスコンシン大学ミルウォーキー校 Golda Meir 図書館）、ハワイ大学ハミルトン図書館（ホノルル）の3カ所であった。その際、アメリカ議会図書館（略称 LC）に、旧日本軍が撮影したとされる、中国の空中写真が多数所蔵されていることが判明した（今里・久武 2003a, b）。

前年度のこの結果を受けて今回、この LC 所蔵の空中写真に焦点を絞り、第2回調査を行った。アメリカでの現地調査は、2003年9月22～29日にかけて、長澤と今里の2名で実施した。調査にあたっては、前回に引き続き、LCの目録部日本課の藤代眞苗氏と、アジア部の太田米司氏にご協力いただいた。

流出経路

この空中写真は、LCの Adams 館の屋根裏倉庫に保管されている。ここの書架には、第二次大戦の終戦時にアメリカが満鉄から接收した資料約6～7万点も保管されており、すべて藤代氏が数年をかけて整理されたものである。藤代氏によれば、これらの資料は、空中写真も含め、1996年にワシ

トン文書センター（WDC）から移管されたもので、それ以前の流出経路の詳細は不明であるという。

空中写真は、およそ撮影コース順に数十枚から百数十枚ごとに簡易包装され、包装紙に地区名・撮影年月日・写真番号・枚数が記入されている。撮影年については、昭和17年もしくは昭和18年との記入がある。それぞれの空中写真の裏面にも、鉛筆で写真番号が記入されている。これらの記入は藤代氏が行ったものではなく、字体等から判断して、おそらく満鉄関係者、もしくは接收に関わった日本人担当者が記入したものである。これらの書誌情報にもとづいて藤代氏が、LCの索引カードを作成し、空中写真自体の包装についても補強を行ったものである。

今回の調査では、まず現物一枚一枚を一通り確認して、書誌情報を記録した。次に、資料的にとりあえずの価値が大きいと判断されたもののみを、A4のスキャナー2台で分担して撮影し、画像はノートパソコン2台に保存した。このスキャニング作業についても、LCスタッフの許可を得て行った。

撮影地域と枚数

空中写真の撮影地域は、長江下流域北方の江北地区、現在の省名では江蘇省・安徽省の一部である。総数は2100枚、すべてモノクロである（写真1）。地区ごとの枚数は、五河地区278枚、五河南方・安淮集地区41



写真1 旧日本軍撮影の中国中支地域の空中写真（アメリカ議会図書館所蔵）

枚，界首鎮西方 87 枚，阜寧南方 120 枚，宝應西南方 197 枚，六甲鎮地区 258 枚，興化地区 265 枚，中支地域 854 枚である。

今回スキャナーで撮影したのは，五河地区，五河南方・安淮集地区，界首鎮西方，阜寧南方，宝應西南方の計 723 枚である。これ以外の地区については，それぞれ，六甲鎮地区については現在の地名との比定が現時点ではやや困難である，興化地区については写真の劣化が著しい，中支地域については詳細な地名が不明のため比定が困難である，との理由から，一部のサンプルを除いて今回はスキャニングを行わなかった。

この 2100 枚の地域は 地方の小規模な中心集落を一部に含むものの，すべて農村地域である。例えば，散居村，環濠集落，クリーク集落，集村と短冊状耕地，区画整理された塩田集落，汎濫原の開拓地など，集落地理学的にみても大変興味深い。スキャニングしたものについては，おおよそ撮影地の比定は可能であると見込まれる。

判明点と疑問点

空中写真の大きさは，32×32cm であり（ただし切り方が乱雑で形が歪んでいるも

のも相当数ある),現在の日本で一般に製作されているものより,かなり大きい。そのため,写真1枚につき,全体の約3分の2の面積のみをスキャンせざるを得なかった。ただし,写真のオーバーラップは約60%,サイドラップは約30%であるため,このようなスキャン方法であっても撮影範囲はすべてカバーできている。縮尺は1万分の1から2万分の1程度と推測されるが,場合によっては4万分の1程度の可能性もある。

五河地区や中支地区などの一部の空中写真(全体の数%程度)の隅には,濱安または河井という姓名が焼き込まれており,これらは撮影または製作関係者のものと推測される。さらにこれらの写真には,同じ位置に撮影年月日も焼き込まれている。しかしながら,撮影年は写真の包装紙に記載された「昭和17年」もしくは「昭和18年」ではなく,例えば「9.10.26」と表示されている。この場合,写真の画像から判断しても,10月26日の撮影であることはおそらく間違いはないが,最初の数字の「9」とは何かということが大きな疑問点として残る。これは,撮影年月日が焼き込まれた写真すべてについて当てはまる。

今後の課題

したがって当面の課題は,これらの書誌情報の疑問点を解明することと,スキャンした写真の現地比定を行うことである。これらの作業にもとづいて,地域環境資料あるいは歴史地理学的資料としての活用が,今後検討されることになるだろう。

文献

- 今里悟之・久武哲也 2003a.(発表要旨)在アメリカ外邦図の所蔵状況:議会図書館・AGS Golda Meir 図書館・ハワイ大学ハミルトン図書館の調査から.季刊地理学 55-1:76-77.
- 今里悟之・久武哲也 2003b.在アメリカ外邦図の所蔵状況:議会図書館・AGS Golda Meir 図書館・ハワイ大学ハミルトン図書館の調査から.外邦図研究ニュースレター1:33-36.